# 事業完了報告書

提出日：２０２３年5月３１日

## １．事業概要

（1）資金分配団体名：特定非営利活動法人全国災害ボランティア支援団体ネットワーク
（2）事業名：中核的災害支援ネットワーク構築事業
（3）事業実施期間：2019 年 11 月～2023 年 3 月
（4）実行団体名：北の国災害サポートチーム、いわて連携復興センター、岡山 NPO センター

## 2. 規程類の整備・運用実績

いずれかにチェック☑をつけていただき、項目ごとの設問に回答してください。

| （1）事業期間に整備が求められている規程類の整備は完了しましたか。 |
|---|
| ☑ 完了　／　☐ 整備中 |
| →上記で「整備中」を選択した場合、整備できていない理由を記載してください。また、事業開始時と比較して、整備状況が改善された点を記載してください。 |
| （2） 整備が完了した規程類を自団体の web サイト上で広く一般公開していますか。 |
| ☒ 全て公開した　／　☐ 一部未公開　／　☐ 未公開 |
| →上記で「一部未公開」または「未公開」を選択した場合、その理由と公開予定日を記載してください。 |
| （3） 変更があった規程類に関して JANPIA に報告しましたか。 |
| ☐ 変更があり報告済　／　☐ 変更があったが未報告　／　☑ 変更はなかった |
| →上記で「変更があったが未報告」を選択した場合、その理由を記載してください。 |

## 3. ガバナンス・コンプライアンス体制の整備・運用実績

いずれかにチェック☑をつけていただき、項目ごとの設問に回答してください。

| （1） 社員総会または評議員会、理事会は、規程類の定めるとおりに開催されていますか。 |
|---|
| ☑ はい　／　☐ いいえ |
| →上記で「いいえ」を選択した場合、その理由を記載してください。 |

| （2） 内部通報制度は整備されていますか。 |
|---|
| ☑ はい ／ ☐ いいえ |
| →上記で「はい」を選択した場合、設置方法を以下から選んでください。（複数選択可）<br>☑ 内部に窓口を設置 ／ ☐ 外部に窓口を設置 ／ ☐ JANPIA の窓口を利用 |
| （3） 利益相反防止のための自己申告を定期的に行っていますか。 |
| ☑ はい ／ ☐ いいえ |
| →上記で「いいえ」を選択した場合、その理由を記載してください。 |
| （4） 関連する規程類や資金提供契約の定めるとおりに情報公開を行っていますか。 |
| ☑ はい ／ ☐ いいえ |
| →上記で「いいえ」を選択した場合、その理由を記載してください。 |
| （5） コンプライアンス委員会を設置していましたか。 |
| ☑ はい ／ ☐ いいえ |
| →上記で「いいえ」を選択した場合、その理由を記載してください。 |
| （6） ガバナンス・コンプライアンス体制の整備や強化施策を検討・実施しましたか。 |
| ☑ はい ／ ☐ いいえ |
| →【任意】上記で「はい」を選択した場合、どのような検討・実施をしたか事例を記載してください。<br>＜体制整備＞<br>・相談窓口および連絡体制の検討<br>・役職員および運営委員への周知と研修の検討<br>（2021 年度社労士による安全基準・労働基準・ハラスメント等における勉強会実施）<br>・支援組織としての行動指針や説明責任に関する国際基準を学び、質の高い支援を目指すため、JQAN へ加入<br>（2022 年度より幹事団体として国内における災害支援組織への発信、周知に協力）<br>・職員のメンタルヘルスケア予防のための講習受講、定期的なストレスチェック導入の検討<br>・多様なセクシャリティ、多様な当事者を知るための学習の場づくりの検討 |

| （7） 団体の決算書類に対する会計監査はどのように実施しましたか。本事業の最終年度の状況を選択してください。（実施予定の場合を含む） |
|---|
| ☑ 外部監査 ／ ☑ 内部監査 ※（複数選択可） |
| →上記で外部監査／内部監査を選択した場合、その実施者/実施時期を記載してください。<br>（外部監査）<br>実施者：高野寛之公認会計士事務所<br>実施時期：2023 年 5 月 29 日（他、期中監査 3 回）<br>（内部監査）<br>実施者：監事　鶴町、大城<br>実施時期：2023 年 6 月 5 日、6 日実施予定 |
| （8） 本事業に対して、国や地方公共団体からの補助金・助成金等を申請、または受領していますか。 |
| ☐ はい ／ ☑ いいえ |

## 4. 広報実績

いずれかにチェック☑をつけていただき、設問に回答してください。

| （1）シンボルマークの活用状況 |
|---|
| ☑ 自団体のウェブサイトで表示している ／ ☐ 広報制作物に表示している<br>☐ 報告書に表示している ／ ☑ イベント実施時に表示している<br>☐ その他<br>→「その他」を選択した場合は記載してください<br>（自由記述）： |

最終年度の広報実績について記載してください。

| 広報種類 | 有無 | 内容 |
|---|---|---|
| メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB 等） | | ・2020 年 10 月 5 日、朝日新聞 災害の備え（社説欄）：北海道、岩手、岡山の休眠預金事業に関する取り組みの紹介。<br>・2021 年 3 月 8 日、AERA、コロナ禍での災害支援に関して。<br>・2021 年 3 月 11 日、NHK 宮崎放送局、東日本大震災から 10 年目に考える支援のあり方について。<br>・2021 年 3 月 12 日、静岡新聞 社説 「防災ボランティア-蓄積生かし活動充実を-」。<br>・2021 年 3 月 12 日、朝日新聞 東京版 東日本大震災から 10 年目経った状況に関して。<br>・2021 年 4 月 1 4 日、熊本日日新聞 熊本地震復興再生会議主催の熊本地震から 5 年が経ったシンポジウムに関して。 |

| | | |
|---|---|---|
| | | ・2021 年 4 月 16 日、NHK ラジオ　「コロナ禍のボランティア　～カギは情報共有～」について。<br>・2021 年 5 月 11 日　月刊リカバリー5 月号 「サイガイペディア」紹介。<br>・2021 年 8 月 31 日　北海道新聞　胆振東部地震の発生から 3 年目についての取材。<br>・2021 年 9 月 5 日　河北新報（社説）　「コロナ下の災害支援／地元の対応力を高めたい」について。 |
| 広報制作物等 | | |
| 報告書等 | | |

## 5. 実行団体への事業完了時監査

いずれかにチェック☑をつけていただき、項目ごとの設問に回答してください。

| 実行団体への事業完了時監査は実施しましたか。 |
|---|
| ☑　実施済み　／　☐　実施予定（完了予定時期：　　） |
| →上記で「実施済み」を選択した場合、どのような評価できる点や課題があったか、その他気づいた点などを記載してください。<br>・ネットワーク体をコンソーシアムとして運営されている組織は、幹事組織がお互いの強みを活かし、敬意をもって取り組まれていることが分かり、とても良い環境を作られていると感じました。一方、任意のネットワーク組織は、ガバナンスとコンプライアンスをどこに求め、倫理規程をどの範囲で適用するのかなど、難しい部分もあると考えます。<br>・ＮＰＯ法人として長く活動されている組織は、組織運営に慣れており、休眠預金活用事業を始めたことにより新たに整備した規程類に関しても適切に運用されていました。ただし、コンプライアンス委員会の運営については、しっかり場をもって検討されている組織もあれば、規程類の整備でとどまっている組織もありました。 |

## 6. その他（本助成を通じて組織として強化された事項や新たに認識した課題、今後の対応/あればよいと思う支援や改善を求めたい事項など、自由にご記載ください。）

・休眠預金活用事業で分配団体に求められている「監査」の定義や内容について検討をお願いしたいです。通常の「監査」の役割と異なっており、また一つの事業の助成をしただけの組織（分配団体）が、助成先の組織全体（実行団体）の監査をすることは非常に難しく思いました。

・精算の手引きの更新は無い、もしくは変更頻度は極力少ない方が事業運営を円滑に進めることができます。
　同様に、各種計画書、報告書、精算の様式や提出方法の変更に関しても同様に思いました。

・ジャンピアＰＯの方が交代されても、求められる報告のレベル感や水準、指示内容は一貫して頂きたいです。

・システムは、コミュニケーション手段としての使用も求められていましたので、操作が簡易的だと良いように思いました。

【添付資料】

活動の様子がわかる写真　5 枚程度

JANPIA の事業報告書や WEB サイト、SNS 等で公開可能な写真を 5 枚程度（1 枚 2MB 以下）ご提出ください。（肖像権・著作権に十分にご注意ください。）

それぞれどんな場面の写真なのか、1 枚あたり 50 字から 200 字程度で説明を記載していただきますようお願いいたします。

※ご提出をもって JANPIA での使用にご了承いただいたこととし、使用時に改めて確認はいたしませんので、ご承知のうえ、使用に差支えのない写真（使用許可をとった写真や個人が特定される写真を避ける等）を選んでいただきますようお願いいたします。